

# 小規模企業景気動向調査

[平成16年6月期調査]

回復基調にあるものの、業種によりまだら模様の小規模景況

平成16年7月12日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：平成16年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体>

6月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス19.9(前月比マイナス0.7ポイント)、採算がマイナス21.7(同プラス3.0ポイント)、資金繰りがマイナス21.5(同プラス2.1ポイント)、業況がマイナス25.1(同プラス1.0ポイント)となった。製造業は、自動車、食品には明るい回答が見られるが、繊維や被服に厳しい回答が見られ、売上、業況は悪化している。建設業は、引き続き、公共工事の縮小により低迷と回答する地区が多く売上は伸び悩むものの、採算、業況は改善している。小売業及びサービス業はほぼ横這いという結果となった。今月度は、原油を中心に原材料の高騰により苦戦が予想されたが、ほぼ横這いという調査結果となった。

## <製造業>

製造業については、売上額がマイナス1.8(前月比マイナス5.5ポイント)、採算がマイナス7.3(同プラス0.3ポイント)、資金繰りがマイナス8.9(同プラス0.5ポイント)、業況がマイナス9.5(同マイナス4.2ポイント)となった。自動車、食品に好調という回答が多いものの、繊維や被服は海外生産シフト化が進み経営環境は厳しい。また、原材料の高騰、部品の低価格と回答する地区も多く、売上額、業況は悪化している。

## <建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス36.6(前月比プラス1.3ポイント)、採算がマイナス38.1(同プラス10.0ポイント)、資金繰りがマイナス37.3(同プラス7.6ポイント)、業況がマイナス42.0(同マイナス9.7ポイント)となった。依然として、公共工事の減少という回答が多いが、一部の地域では、災害復旧工事などの特需が見られ採算を中心に改善している。

## <小売業>

小売業については、売上額がマイナス22.0(前月比プラス3.1ポイント)、採算がマイナス24.4(同プラス2.0ポイント)、資金繰りがマイナス22.9(同プラス1.4ポイント)、業況がマイナス27.6(同マイナス0.3ポイント)となった。家電販売店には、薄型テレビ等の販売増加という明るい声が多い。しかし、依然として、消費者の大型店への流出という回答が多く、業況は若干ながら悪化している。

## <サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス19.4(前月比マイナス2.1ポイント)、採算がマイナス16.7(同プラス0.2ポイント)、資金繰りがマイナス17.0(同マイナス1.3ポイント)、業況がマイナス21.4(同マイナス1.5ポイント)となった。旅館業の一部地域で工事関係等の特需による明るい回答が見られるものの、総じて悪化の回答が多い。洗濯業、理美容業は、来店頻度の減少やチェーン店の出店による影響を受けており、業況は若干ながら悪化している。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	19.2	19.9	0.7	3.7	1.8	5.5	37.9	36.6	1.3
採算	24.7	21.7	3.0	7.6	7.3	0.3	48.1	38.1	10.0
資金繰り	23.6	21.5	2.1	9.4	8.9	0.5	44.9	37.3	7.6
業況	26.1	25.1	1.0	5.3	9.5	4.2	51.7	42.0	9.7

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	25.1	22.0	3.1	17.3	19.4	2.1
採算	26.4	24.4	2.0	16.9	16.7	0.2
資金繰り	24.3	22.9	1.4	15.7	17.0	1.3
業況	27.3	27.6	0.3	19.9	21.4	1.5

注) D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先：振興部 振興課 長岡 TEL：03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp